

コード No. 18401

**Anti-Human
IL-8 (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : インターロイキン-8 (IL-8)は IL-1 や TNF といった炎症性サイトカインの刺激により、白血球をはじめとして線維芽細胞や内皮細胞など種々の細胞から産生される白血球遊走因子(leukocyte chemotactic factor)です。 *in vivo*, *in vitro* において好中球、T 細胞、好塩基球に対するさまざまな生物活性が認められています。たとえば、好中球への代表的な作用は走化性活性(chemotaxis)および好中球の脱顆粒、酵素放出(exocytosis)であり、生体における炎症形成の重要なメディエーターと考えられています。IL-8 と病態発生ならびに進展との関連については、非感染性の炎症性疾患である慢性関節性リウマチや痛風、乾癬、成人呼吸窮迫症候群(ARDS)、喘息などを対象とした報告がなされています。

免疫抗原 : Human IL-8 の C 端部分合成ペプチド (QRVVEKFLKRAENS)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタンブロッティング 2~10 µg/mL にて使用可能
使用方法

特異性 : Human GROα/MGSA, Rat GRO /CINC-1, 2α, 2β, 3 と非交差